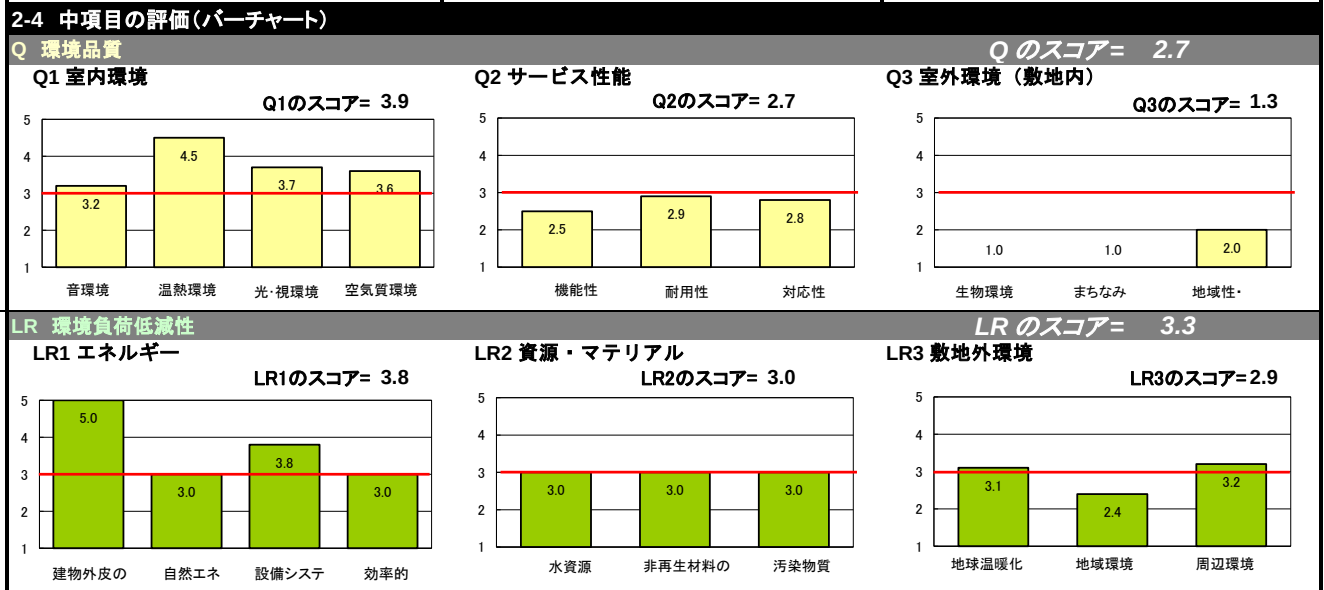
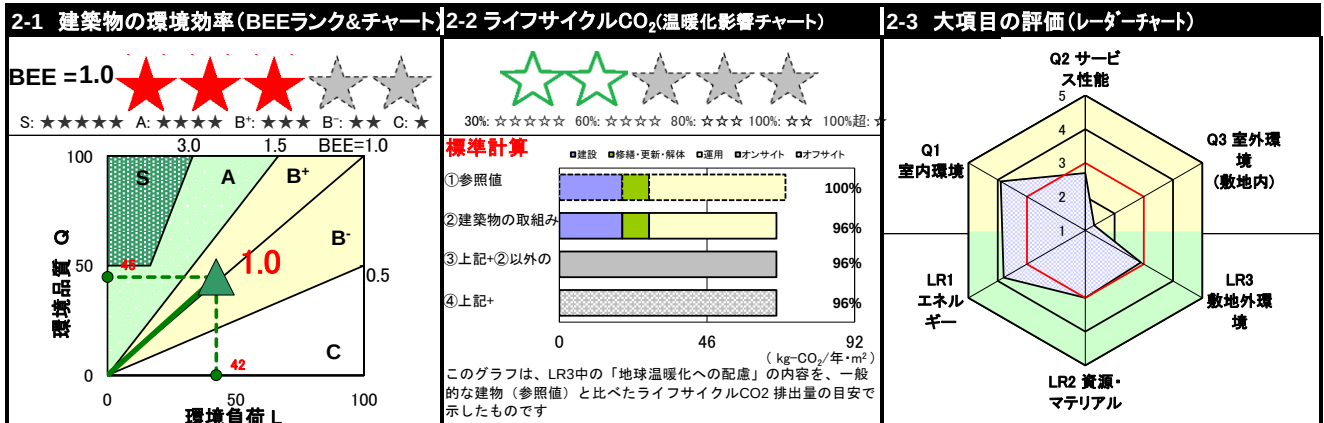




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プレディア都筑ふれあいの丘ステーションリンクス	階数	地上7F
建設地	神奈川県横浜市都筑区葛が谷15番4	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年4月 竣工	評価の実施日	2022年12月5日
敷地面積	463 m ²	作成者	風越建設株式会社 一級建築士事務所 下中伸二
建築面積	315 m ²	確認日	2022年12月5日
延床面積	1,940 m ²	確認者	風越建設株式会社 一級建築士事務所 下中伸二



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・駅前建つシンボリックな外観を目指す ・近隣住居の眺望制限対策として、南側壁面をまちづくり協議内容に基づいて道路境界線から1.5m後退させ、近隣住戸との離隔を確保した。東西面の開口は開口制限を施した窓を設置する予定。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
専有部分について、断熱等性能等級4超とし、T-2仕様のサッシを採用し、高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	空調・給排水配管の支持方法に配慮した設計としている。	外構緑化指数32.1%とし、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱等性能等級4超、BEI=0.92としている。	LGS下地を採用している。	ライフサイクルCO ₂ 排出率96%とし、光害抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称

プレディア都筑ふれあいの丘ステーションリンクス

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 8 %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

適合

受付日

2022年12月13日

誘導基準
(10%削減)

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱等性能等級4超

③BEI=0.92

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

4

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4を超(相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰空調・給排水配管の支持方法に配慮

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.0

プレディア都筑ふれあいの丘ステーションリンクス

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質					-		-		-	2.7
Q1 室内環境					0.40					3.9
1 音環境				3.0	0.15	3.3	1.00			3.2
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				3.0	0.50	3.6	0.50			-
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	5.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				-	-	-	-			-
2 温熱環境				2.6	0.35	5.0	1.00			4.5
2.1 室温制御				3.0	0.50	5.0	1.00			-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	-	-			-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	5.0	1.00			-
3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-			-
3 光・視環境				2.3	0.25	4.0	1.00			3.7
3.1 屋光利用				1.8	0.30	4.0	0.50			-
1 屋光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.60	5.0	0.50			-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3 屋光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.50			-
1 屋光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	-	-			-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	-	-			-
4 空気質環境				3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63			-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38			-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	3.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.7
1 機能性				2.4	0.40	2.6	1.00			2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60			-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	1.00			-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40			-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-			2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性		防 災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能		防 災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				2.9	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数		防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 電気設備		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.8	1.00			2.8
3.1 空間のゆとり				-	-	2.6	0.50			-
1 階高のゆとり				-	-	3.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ				1.0	-	2.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.0

プレディア都筑ふれあいの丘ステーションリンクス

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート			実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目			<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	-	1.3	
1 生物環境の保全と創出			地域・まちづくり		⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			地域・まちづくり		⑨まちなみ・景観への配慮	1.0	0.40	-	-	1.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			地域・まちづくり		⑩地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			快適・働きやすさ		⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.3	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	3.8	
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネルギー性能		①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用			省エネルギー性能		②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			省エネルギー性能		③設備システムの高効率化	3.8	0.50	-	-	3.8	
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価					-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			省エネルギー性能		④効率的運用	-	-	-	-	-	
集合住宅の評価					3.0	1.00	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制			省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	3.0	
1 水資源保護					3.0	0.20	-	-	-	3.0	
1.1 節水					3.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	1.00	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					-	-	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.0	0.60	-	-	-	3.0	
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					4.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.20	-	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70	-	-	-	-	
1 消火剤					-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒					3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	2.9	
1 地球温暖化への配慮					3.1	0.33	-	-	-	3.1	
2 地域環境への配慮					2.4	0.33	-	-	-	2.4	
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.7	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33	-	-	-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音					3.0	1.00	-	-	-	-	
2 振動					-	-	-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制					1.0	-	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制					4.4	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					5.0	0.70	-	-	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	-	-	
上記以外の重点項目							-	-	-	-	
<事務用途>							-	-	-	-	
知的生産性向上への取組			快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	
<住宅用途>							-	-	-	-	
健康と安心							-	-	-	-	
1 化学汚染物質の対策			健康・安心		⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	
2 適切な換気計画			健康・安心		⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策			健康・安心		⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)			健康・安心		⑦防犯対策	1.0	-	-	-	-	